

2020年度事業報告の件

I. 本部報告事項

1. 活動の概要

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、日本では史上初めてとなる緊急事態宣言が2020年4月7日に発令された。基本対策はソーシャルディスタンスの確保、3密回避であったことから、当工業会の事業活動にも大きな影響を与えた。

緊急事態宣言は初期の感染拡大（第1波）を抑制できたことにより、2020年5月25日に全面解除された。しかし、第2波、第3波以降への対応をする中で、2021年1月8日には地域圏を特定した緊急事態宣言が再度発令されて、拡大防止策がとられた。この宣言下ではヒトやモノの移動に制限がかかることから、製造業であるばね産業や自動車産業にも大きな影響を断続的に与えた。

このような中、ワクチンと治療薬の開発が進んでおり、早期の承認と接種および治療法の普及が、経済活動の継続的な再開と活性化には不可欠である。

一方、コロナ禍からの経済の早期回復と感染抑制の両立は大きな問題でもあり、現在も有効な施策と手段が模索されて実行されている状況である。

コロナ禍での金属製ばねの生産金額は、経済産業省の生産動態統計では2020年5月（対前年同月比 -45.7%）を底にして、日本のばね産業は回復基調にある。ばねは自動車、機械、電機の3事業分野で幅広く使用される基幹部品であり、最大の顧客である自動車産業も国内自動車生産台数は2020年5月（対前年同月比 -61.1%）を底にして、回復基調を示している。

表1~2に日本国内における2020年の金属製ばねの生産金額と生産数量、表3に自動車生産台数を示す。

一方、新型コロナウイルスの感染再拡大や地震などの自然災害は、製造業のサプライチェーンのあり方やBCP対策の根本的な見直しを図る機会ともなっている。そして、コロナ禍を契機としてデジタルトランスフォーメーション（DX）が大きく進展し、「New Normal」として受容せざるを得ない状況と作り出している。

今回のコロナ禍では、私たちの日常や経済活動が大きな影響を受けるとともに、社会の価値観や行動様式を大きく変化させた。従来、当工業会の事業活動は会員同士のつながりを重視し、特に対面形式での会議、委員会活動を基本として活動してきた。しかし、感染拡大を抑制するための3密回避と移動制限は、本部・支部活動、委員会・部会等の会議・会合のあり方の更なる見直しと変革を促している。

このような中で、デジタル新時代を見据えたばね産業の更なる発展に向けた成長戦略では、“日本のばね産業が今後も競争力を維持するために取り組むべきこと”を念頭として、2020年度は体制・組織の再構築の検討と最適化を継続的に図ってきた。

2020年度の日本ばね工業会の事業活動は3支部（東部・中部・西部）と4委員会（総務委員会・技術委員会・標準化会議・技能検定委員会）を中心とした重点運営を実施し、次の3主要事業を推進してきた。

- (1) 標準化事業 ばねに関する規格・基準の制定と普及
- (2) 技能検定事業 金属ばね製造技能士の育成、および資格認定試験の受託・実施
- (3) 統計事業 ばねの生産動向、市場規模・動向の把握

コロナ禍のばね製造業への影響は当初、リーマンショックを上回る想定をしてきた。リーマンショック時の金属製ばねの生産金額は対前年比 -30.5%、生産数量は対前年比 -38.8%の大きさであり、国内自動車生産台数も対前年比 -31.4%となっていた。一方、2020年のコロナ禍時の金属製ばねの生産金額は対前年比 -11.8% (284,057 百万円)、生産数量は対前年比 -16.8% (353,697 千 ton) の大きさであり、国内自動車生産台数は対前年比 -16.7% (8,067,943 台) と、影響を最小限に抑制する対策と体制整備が図られてきた。

したがって、2020年の金属製ばねの生産は、リーマンショック時の低迷規模を回避できる状況となっている。しかし、今後の感染再拡大によっては厳しい状況が長期に亘って続く可能性を否定できず、当工業会として有効な事業活動を実施するために、更なる会員企業の連携や関係官公庁・関係団体との調整が不可欠である。

表1: 金属製ばね 生産金額 (2020年)

出典: 経済産業省

2019年		2020年		
年月	ばね生産高(千円)	年月	ばね生産高(千円)	対前年比
2019.01	25,810,628	2020.01	25,395,999	-1.6%
2019.02	27,941,562	2020.02	26,059,799	-6.7%
2019.03	28,169,230	2020.03	26,544,131	-5.8%
2019.04	27,636,766	2020.04	20,374,508	-26.3%
2019.05	26,454,712	2020.05	14,372,131	-45.7%
2019.06	26,699,330	2020.06	18,315,681	-31.4%
2019.07	29,661,019	2020.07	23,131,273	-22.0%
2019.08	23,470,733	2020.08	19,224,746	-18.1%
2019.09	27,278,420	2020.09	26,776,758	-1.8%
2019.10	26,964,635	2020.10	28,468,036	5.6%
2019.11	26,310,097	2020.11	28,682,276	9.0%
2019.12	25,490,907	2020.12	26,712,179	4.8%
合計	321,888,039	合計	284,057,517	-11.8%

表2: 金属製ばね 生産数量 (2020年)

出典: 経済産業省

2019年		2020年		
年月	ばね生産数量(ton)	年月	ばね生産数量(ton)	対前年比
2019.01	34,608,176	2020.01	33,519,496	-3.1%
2019.02	37,032,577	2020.02	33,513,104	-9.5%
2019.03	38,222,591	2020.03	34,052,015	-10.9%
2019.04	36,400,144	2020.04	25,425,412	-30.2%
2019.05	35,066,423	2020.05	15,956,586	-54.5%
2019.06	35,188,051	2020.06	21,306,307	-39.5%
2019.07	39,449,093	2020.07	27,959,948	-29.1%
2019.08	30,360,218	2020.08	23,127,240	-23.8%
2019.09	35,889,149	2020.09	33,488,542	-6.7%
2019.10	36,060,604	2020.10	35,963,480	-0.3%
2019.11	34,629,757	2020.11	36,396,370	5.1%
2019.12	32,296,891	2020.12	32,989,027	2.1%
合計	425,203,674	合計	353,697,527	-16.8%

表3： 日本国内の自動車生産台数（2020年）

出典： JAMA

2019年		2020年		
年月	生産台数	年月	生産台数	対前年比
2019.01	790,114	2020.01	762,315	-3.5%
2019.02	864,463	2020.02	769,161	-11.0%
2019.03	900,593	2020.03	828,704	-8.0%
2019.04	814,351	2020.04	438,770	-46.1%
2019.05	792,919	2020.05	308,061	-61.1%
2019.06	810,188	2020.06	513,626	-36.6%
2019.07	895,822	2020.07	697,867	-22.1%
2019.08	678,546	2020.08	556,276	-18.0%
2019.09	828,889	2020.09	821,092	-0.9%
2019.10	778,590	2020.10	838,205	7.7%
2019.11	804,523	2020.11	782,237	-2.8%
2019.12	725,296	2020.12	751,629	3.6%
合計	9,684,294	合計	8,067,943	-16.7%

2. 社員総会の開催

名 称	開催日・場所	議 案
第9回 社員総会	2020年5月26日 日本ばね工業会会議室	審議事項 第1号議案 2019年度 事業報告の件 第2号議案 2019年度 収支決算の件 第3号議案 役員（理事・監事）選任の件 第4号議案 その他 報告事項 1. 2020年度事業計画の件 2. 2020年度団体賛助会員年会費及び収支予算の件

3. 会長表彰

例年は社員総会、支部年次大会において表彰式を執り行っていたが、コロナ禍で表彰式は支部での対応となった。

(1) 国家褒章	該当なし		
(2) 本部及び支部役員表彰	該当なし		
(3) 本部委員会委員表彰	該当なし		
(4) 優良ばね製造技能者	プラチナ賞	10社	15名
	金賞	16社	33名
	銀賞	13社	32名
	合計	39社	80名
(5) 優良従業員表彰	東部支部	13社	45名
	中部支部	12社	36名
	西部支部	15社	36名
	合計	40社	117名

4. 理事会の開催

理事会は5回開催された。

開催日・場所	議 案（主な内容）
第41回理事会 2020年5月13日 書面開催（決議）	審議事項 1. 2019年度 事業報告及び収支決算の件 2. 役員（理事・監事）選任の件 3. 第9回社員総会の件 4. 2019年度 会長表彰受賞者の件 報告事項 1. その他（会員異動等） 2. 第9回社員総会関係行事の開催方法について
第42回理事会 2020年5月26日 書面開催（決議）	審議事項 1. 代表理事（会長）及び業務執行理事（副会長・専務理事）の一括選定の件
第43回理事会 2020年9月2日 書面開催（決議）	審議事項 1. 会員入会の件 報告事項 1. 支部活動報告 2. 委員会活動報告 3. その他（会員異動等）
第44回理事会 2020年12月2日 書面開催（決議）	報告事項 1. 支部活動報告 2. 委員会活動報告 3. その他（会員異動等） 審議事項 1. 第10回定時社員総会及び定例理事会日程等の件 2. JSMA規格の件
第45回理事会 2021年3月24日 書面決議（決議）	審議事項 1. 2021年度 事業計画の件 2. 団体賛助会員年会費及び収支予算の件 3. JSMA規格の件 4. 2020年度 会長表彰受賞者の件 5. 第10回社員総会の開催と招集の件 報告事項 1. 2020年度 事業報告の件 2. その他（会員異動等）

5. 監事による監査等

監事は、監事監査等を次のとおり実施した。

2019年度事業報告及び収支決算書については2020年4月24日にその内容を監査した。

6. 会員の異動

(1) 会員の入会 1社

正会員 中部支部 株式会社豊成精工

(2) 会員の退会 4社

正会員 東部支部 共和発条株式会社

東部支部 東邦発条株式会社

東部支部 松永精密工業株式会社

西部支部 双葉発条製作所

(3) 期末会員数

	支部別	2020年3月末	2020年度増減	2021年3月末
正会員	東部支部	77	-3	74
	中部支部	54	+1	55
	西部支部	80	-1	79
	合計	211	-3	208
賛助会員		37	±0	37